

Berlin Report

March 2026

CONTENTS

- * Project 1: Kino International
- * Project 2: Authentikka

1. Kino International

Project Overview

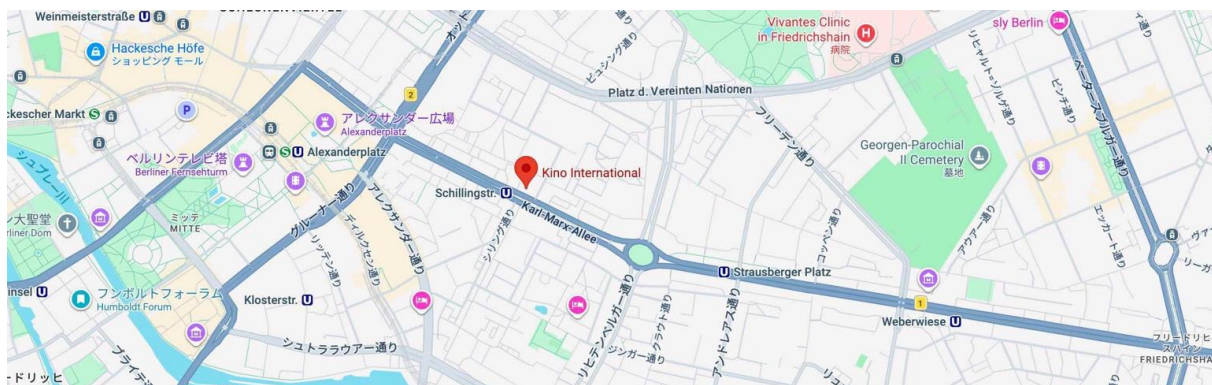
旧東ドイツのプレミア上映館として建てられた「Kino International」がリニューアルオープンして、大きな話題を呼んでいる。1963年の建設から60年以上もの間修復すらず使い続けられてきた物件だが、2年間の閉館改修を経て、再びその門戸を開いた。映画が娯楽の王様であった時代の高揚感を高める演出が散りばめられたインテリアは、映画はもちろん建築好きからも熱い視線を集めている。

まず訪れた観客を迎えてくれるのは、菱形の立体真鍮パーツを組み合わせ、星のように丸いLED電球を散りばめた天井が印象的なエントランスホールだ。天井は低く作ることで圧迫感を持たせており、左右に広がる階段へと誘われる。階段には光を吸収する深い青のベルベットを敷き、照明はサイドの壁に埋め込んだランプだけに控えているため薄暗い。階段を上り終わると現れるホワイエの明るさを強調する工夫だ。南西向きのファサードは上映映画の看板が描かれるキャンバス部分以外は全面ガラス窓になっており、ホワイエにはたっぷりと外光が入ってくる。壁面はチェリー、ニレ、トネリコを組み合わせた木製パネルで覆われており、スクエアフローリングの床とともに暖かな雰囲気を醸し出す。低めのスツールと四角いテーブルは日本なら純喫茶にありそうな佇まいで、一部の壁面にはポップなガラスオブジェが。エレガントだがレトロなクラブのようでもあり、現在は「Panorama Bar」として映画の前にカクテルを楽しむ場所としても人気だ。窓際のカウンター席からは、かつての東ベルリンの中央通り、カール・マルクス・アレーの風景が楽しめる。大ホールはホワイエよりエレガントな造りだ。壁面は同じ木製パネルで覆われているが、スタッコ天井の波打つフォルムが強調されて美しい。スクリーン前のカーテンは上品な輝きのペールピンクのспанコールと同色の布を縦にストライプにはぎ合わせた豪華なもの。シートとフロアは深い青で統一し、木の壁面と相まって落ち着いたシックな雰囲気に仕上がっている。

Project Details

1. Brand: Kino International
 2. Type of Business: Cinema
 3. Open Date: 22/02/2026
 4. Location: Karl-Marx-Allee 33, 10178 Berlin
 5. Size: 506 seats
 6. Architect : Josef Kaiser, Renovation : Dickmann Richter
 7. Website: <https://www.yorck.de/kinos/kino-international>
- Photos Page 3-4 © Daniel Horn Page 5 ©Gianni Plescia

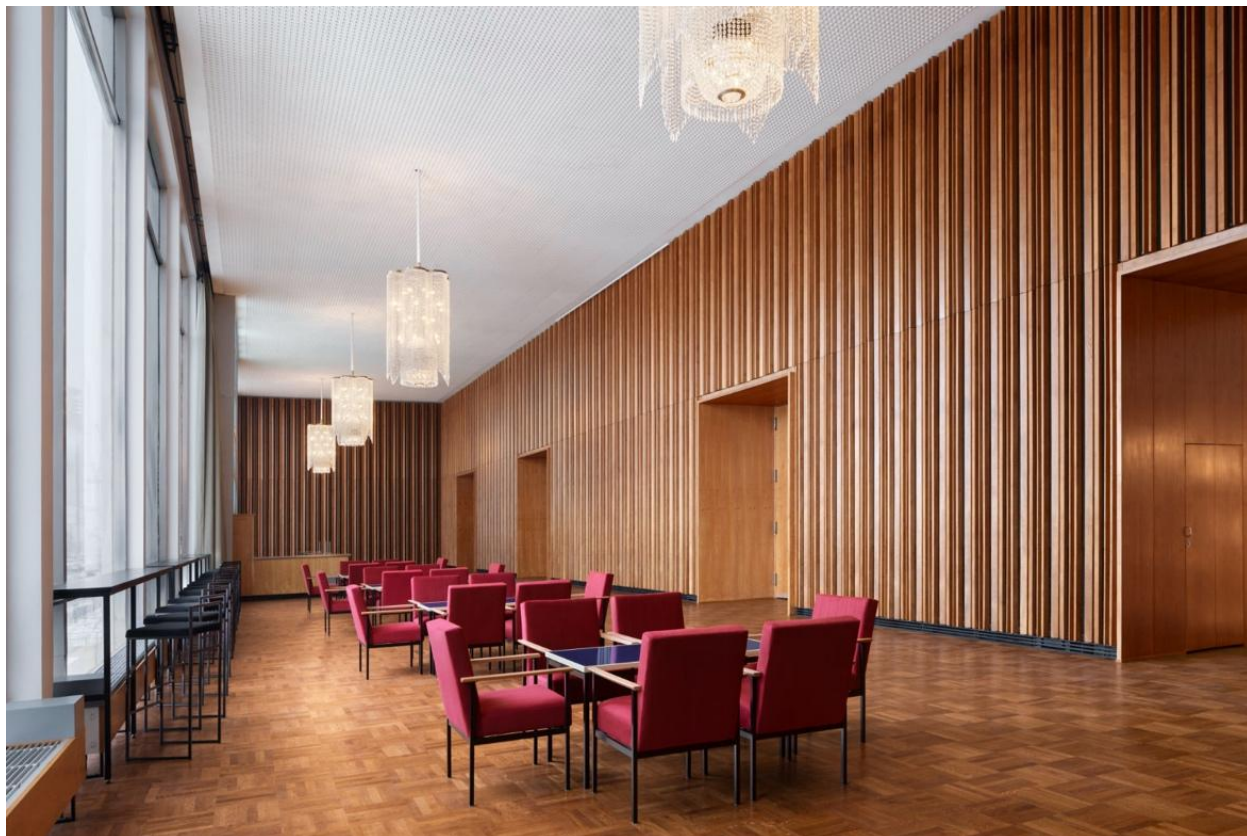
Location MAP





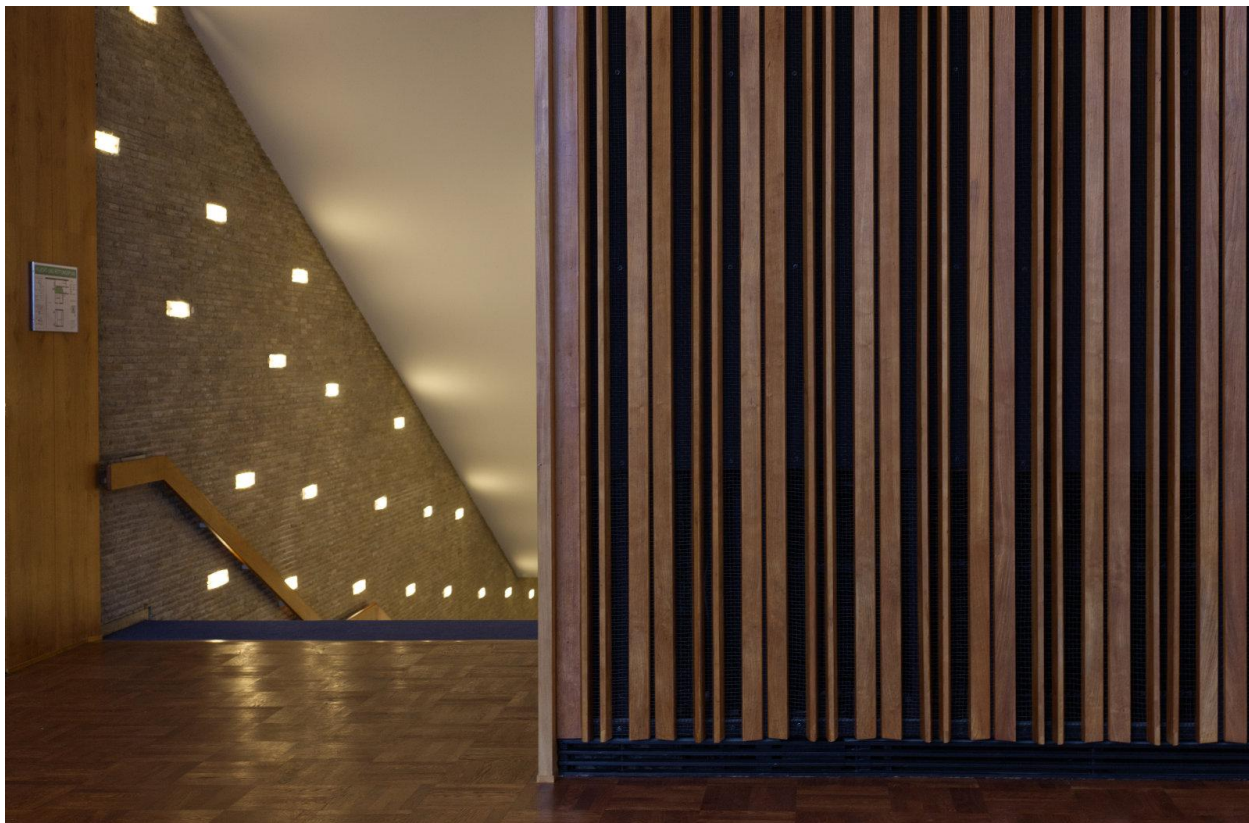
上：壁面に楔のように刻んだ漆喰模様が印象的な建築。下：真鍮の菱形の立体パーツに242個の丸いLED電球が反射して輝く。



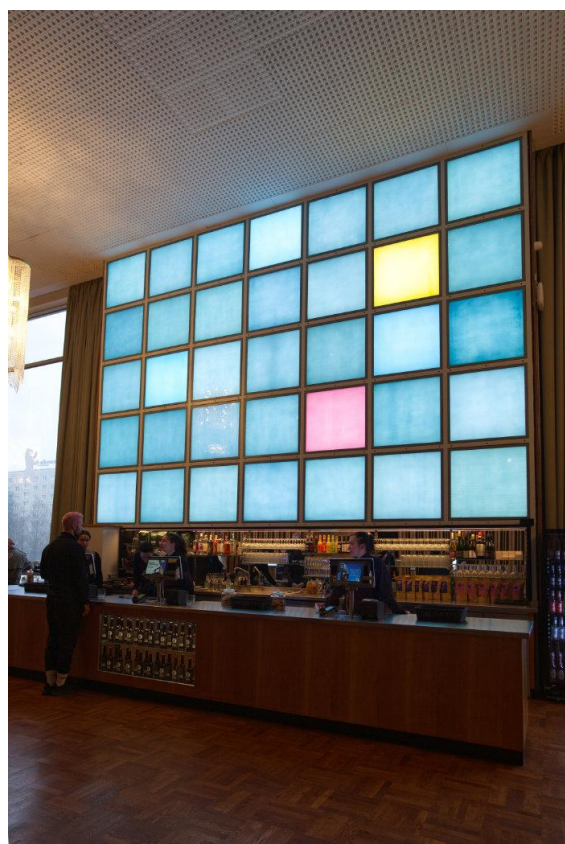


上：天井からは高さを強調するようにチェコ製のクリスタルガラスをふんだんに使ったシャンデリアを4つ吊るし、空間に豪華さとエレガントさを加えている。下：スタッコ天井と壁面の木製パネルが対照的な大ホール。加える色は深い青色のみで落ち着いた雰囲気。





上：薄暗い階段から明るいホワイトエへ。壁や床には多様な濃い色の木材を使用。下右：パノラマバー。下左：エントランスの照明細部。



2. Authentikka Winterhude

Project Overview

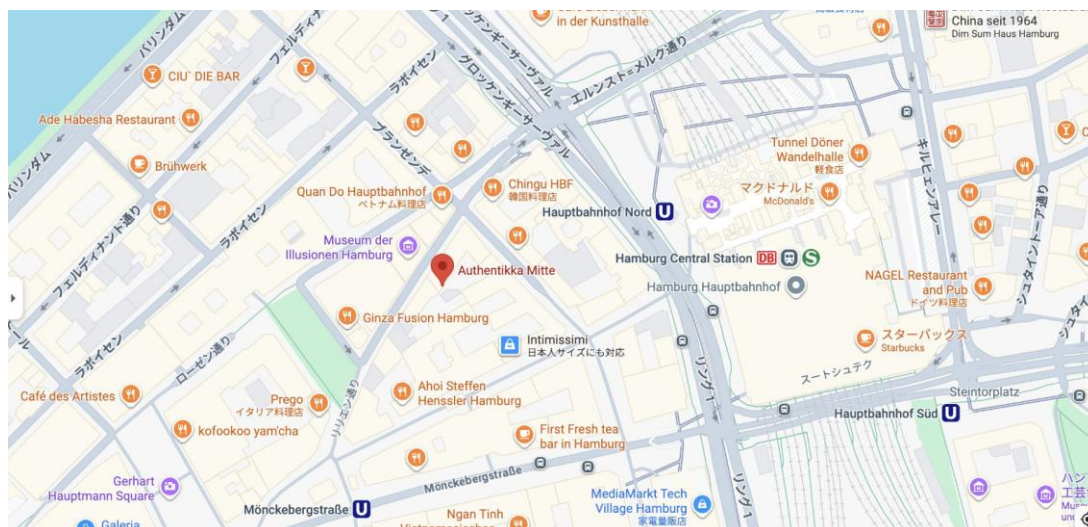
2025年度のCallweyデザイン・アワードで、レストラン部門1位を獲得した「Authentikka Winterhude」。ドイツ第二の都市Hamburgの中央駅から程近い家族経営のインドレストランだ。ベルリンに拠点を置くデザインスタジオ「Studio Lineatur」は、コンセプトとして、現代的な美意識とノスタルジックな要素を融合させたModern India Nostalgiaを掲げる。

オレンジなど暖色系の素材やエキゾチックな小物を使った騒がしい内装が多いインド料理店だが、Studio Lineaturはスパイスの中でもカルダモングリーンや、パパダムの明るいイエローベージュを基調に選び、サフランオレンジをところどころアクセントとして配置した、洗練された居心地のいい空間を作り出した。広々としたエントランス空間には、ダークカラーのスモークオークと天然石のウェルカムカウンターを設置。ここが、深いオレンジやダークブルーなど濃い色調でテーブル間も狭めに造ったコージーな2階の空間と、藤製のルーフや明るい色の石材などリゾート風の要素が散りばめられた1階の空間を繋ぐ起点となっている。1階では、サフランオレンジを壁面やカウンターのタイルのアクセントに取り入れた。ここでカフェやインド風のノンアルコールカクテルも楽しむこともできる。金属製のバースツールやグリーンの鉢で甘さを引き締めて。奥はカルダモングリーンを家具や柱に配色し、一気にシックに。ジュートのカーペットなど素朴な雰囲気アイテムにも金属のテーブルを組み合わせている。2階はダークブルーやマスタードイエローなどのスパイスカラーの中にSanta & Coleの優しい光を放つ紙製ペンダントライトや、キドニーシェイプテーブルなど、ミッドセンチュリーテイストの家具を配置した。アジアとヨーロッパ、どちらの国にもありそうでここにしかない唯一無二のインテリアが完成した。

Project Details

1. Brand: Authentikka Hamburg Mitte
2. Type of Business: Hospitality interior, Restaurant
3. Open Date: 2022
4. Location: Schinkelstrasse 2, 22303 Hamburg
5. Size: 130 m2 6. Interior design: Lineatur
6. Website: <https://authentikka.de/>

Location MAP





ウェルカムカウンターの後ろには鏡を柱の周りにスクエア状に設置しオブジェのように。明るい石造りの空間が映り込み、開放感がある。

